引用論文記載例(2024 年 1 月以降)

(2025 年 10 月 20 日改訂)

【経緯】

Library and Information Science の引用文献書式は,『科学技術情報流通技術基準』の「SIST02 参照文献の書き方(2007 年版)」に準拠してきました。SIST02 は 2011 年度末に改訂が終了していましたが, 2021 年度末に公開も停止されました。これを受け, 三田図書館・情報学会では, 引用文献の記載方法について, 国際的なルールに準じ, 多様な情報源に対して統一した記述で記載できる書式として, アメリカ心理学会(American Psychological Association: APA)論文作成マニュアルの最新版である APA マニュアル第 7 版に基づくものに変更いたします。2023 年 12 月 31 日までは, 新旧どちらの書式でも投稿を受け付け, 2024 年 1 月 1 日以降の投稿論文は新書式のみ受け付けます。

【従来と新書式の相違点】

従来は, 注・引用文献に連番を付けて本文末尾に番号順に記載していました。

新書式では, 注と引用文献を分け, 注は従来と同じく連番を付けて末尾に番号順に記載します。引用文献は, 本文中では丸括弧に入れて著者名と出版年を示し, 末尾の引用文献リストでは和文は五十音順, 欧文はアルファベット順に, 和文欧文に分けて記載します。ただし, 翻訳された文献は原著者を著者名として示し, 引用文献リストでは原著に翻訳書の情報を加えた記載とします。なお, 引用文献以外の書式については, 変更はありません。

【参考】

APA マニュアル第 7 版による引用文献記載例：

https://apastyle.apa.org/style-grammar-guidelines/references/examples

APA マニュアル第 7 版とその日本語訳：

Publication manual of the American Psychological Association: The official guide to APA style (7th ed.). (2020). American Psychological Association.

アメリカ心理学会. (2023). APA 論文作成マニュアル (第 3 版). 前田樹海, & 江藤裕之 (訳). 医学書院.

【引用論文記載例】

以下は, Library and Information Science における引用文献の記載方法の詳しい例示です。青色の箇所は補足説明です。記号はいずれも半角とし, 後ろに半角スペースを入れてください。ただし「&」については前にも半角スペースを入れてください。

1. 雑誌論文

谷口祥一. (2022). JAPAN/MARC 書誌レコードから NCR2018 エレメントベースのメタデータへの変換. Library and Information Science, *88*, 49-71.

https://doi.org/10.46895/lis.88.49
(著者名. (刊行年). 論文タイトル. 雑誌名, 巻(号), 最初のページ-最後のページ. 論文に DOI がある場合は末尾に記載し, その最後にピリオドは付けない。和論文の場合は雑誌名が欧文であってもイタリック体としない。巻次はイタリック体とする。)

糸賀雅児. (1991). 情報利用における「意味」と「理解」: 「意味付与」概念にもとづく情報ニーズの再検討. Library and Information Science, *29*, 1-19.
(本タイトルと副タイトルは原著での表記に関わらず, 半角コロン(:)で区切る。)

根本彰, 三浦太郎, 中村百合子, & 古賀崇. (1999). 政策文書に見る GHQ/SCAP 民間情報教育局の図書館政策. 東京大学大学院教育学研究科紀要, *39*, 453-478.
(和文論文の著者の間はコンマ(,)で区切る。最後の著者はその直前の著者と「&」でつなぐ。著者や編者が 20 名以下の場合は全員の名前を記載する。21 名以上の場合には, 第 1 著者から第 19 著者までを書き, 3 点リーダー(...)を置いて第 20 著者以降を省略し, 最後の著者を書き, 合計 20 名を記載する。)

Ledezma, G., & Bejan, A. (1996). Heat sinks with sloped plate fins in natural and forced convection. *International Journal of Heat and Mass Transfer, 39*(9), 1773-1783.
(欧文論文の著者の間はコンマ(,)で区切る。最後の著者はその直前の著者と「&」でつなぐ。欧文雑誌名と巻次はイタリックとする。号次はイタリックとしない。)

Katzer, J. (1987). User studies, information science, and communication. *Canadian Journal of Information Science*, *40*(3/4), 15-30.
(3 号と 4 号の合併号。)

Stahlman, G. R. (2022). From nostalgia to knowledge: Considering the personal dimensions of data lifecycles. *Journal of the Association for Information Science and Technology*, *73*(12), 1692-1705. https://doi.org/10.1002/asi.24687
(論文に DOI がある場合は末尾に記載する。最後にピリオドは付けない。)

Tamura, S., Miwa, M., Saito, Y., Koshizuka, M., Kasai, Y., Matsubayashi, M., & Ikeya, N. (2007). Information sharing between different groups: A qualitative study of information service to business in Japanese public libraries. *Information Research*, *12*(2), Paper 306. http://InformationR.net/ir/12-2/paper306.html
(電子ジャーナルで, ページ付けがないため, 論文番号(paper 306)と入手先の URL を記載。)

Van de Sompel, H., & Beit-Arie, O. (2001). Open linking in the scholarly information environment using the OpenURL. *D-Lib Magazine*, *7*(3).

https://doi.org/10.1045/march2001-vandesompel
（電子ジャーナルで，ページ付けも論文番号もない場合。）

２．雑誌の特集記事

(2005). 特集 NPM と社会政策. 社会政策研究, *5*, 7-145.
((刊行年). 特集，特集のテーマ. 雑誌名，巻(号)，最初のページ-最後のページ.)

Social epistemology and information science [Special edition] (2002). *Social Epistemology*, *16*(1), 1-114.

竹内比呂也. (2007).デジタルコンテンツの彼方に図書館の姿を求めて. 情報の科学と技術, *57*(9), 418-422.
（特集中の 1 記事の場合，雑誌論文として記載する。）

３．図書

西垣通. (2004). 基礎情報学: 生命から社会へ. ＮＴＴ出版.
（著者名. (出版年). 書名. 出版社. ）

上山信一, & 稲葉郁子. (2003). ミュージアムが都市を再生する: 経営と評価の実践. 日本経済新聞社.
（複数の著者はコンマ(,)で区切る。最後の著者はその直前の著者と「&」でつなぐ。）

上田修一, & 倉田敬子（編). (2017). 図書館情報学（第 2 版). 勁草書房.
（編者が 20 名以下の場合は全員の名前を記載する。版次は書名の後に記載する。）

田村俊作（編著). (2001). 情報探索と情報利用. (図書館・情報学シリーズ，２）勁草書房.
（シリーズ名は省略する。記載する必要がある場合は，書名の後に丸括弧に入れ，シリーズ名とその番号との間はコンマ(,)で区切る。）

日本の近代活字: 本木昌造とその周辺. (2003). 近代印刷活字文化保存会（発行), 朗文堂(発売).
（出版社が明示されていない場合は，発行者や発売者を記載する。）

府川充男（撰輯). (2005). 聚珍録（2). 三省堂.
（複数巻のなかの 1 巻でタイトルがない場合は，書名の後に，巻次をイタリックにはせず丸

括弧に入れて記載する。）

McMillan, G. K. (1994). *Measurement and control* (2nd ed.). Instrument Society of America.
(著者名. (出版年). 書名. 出版社.) (版次がある場合には，書名の直後に丸括弧に入れて記載する。丸括弧を閉じた後にピリオド(.)を付ける。)

Hahn, T. B., & Buckland, M. (Eds.). (1998). *Historical studies in information science*. Information Today.
(複数の著者や編者はコンマ(,)で区切る。最後の著者等とその直前の著者等は「&」でつなぐ)

４．図書の一部

森岡倫子. (2000). 電子雑誌. In 倉田敬子（編), 電子メディアは研究を変えるのか（pp. 173-207). 勁草書房.
(著者名. (出版年). 該当章の題名. In 編者, 書名(pp. 該当章の最初のページ－最後のページ). 出版社.)

荻原幸子. (2003). ニュー・パブリック・マネジメント論と公共図書館経営論. In 図書館の経営評価：パフォーマンス指標による新たな図書館評価の可能性（pp. 3-28). 勉誠出版.
(編者が団体のため省略している場合)

池谷のぞみ. (2001). 第 1 章 生活世界と情報. In 情報探索と情報利用（pp. 41-90). 勁草書房.
(章の見出しを記載している場合)

根本彰. (1999). 図書館情報学の領域と特性. In 図書館情報学ハンドブック（第 2 版, pp. 1-11). 丸善.
(ハンドブック中の 1 記事で著者名がある場合。版次あり。)

情報学. (2020). In 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会（編），図書館情報学用語辞典(第 5 版, p. 107).丸善.
(著者名がない辞典中の 1 項目の場合は項目名「情報学」を著者名の位置に移動し，団体著者名または編集者名を省略しない。本文中で示すときには，項目名「情報学」を使用する。)

Doets, K. (1994). 5 Linear resolution. In *From logic to logic programming* (pp. 93-120). MIT Press.

（「In」に続けて書名をイタリック体で示す。ただし，編者等を記載しない場合である。）

Rayward, W. B. (1998). The origins of information science and the International Institute. In T. B. Hahn, & M. Buckland (Eds.), *Historical studies in information science* (pp. 22-33). Information Today.
（「In」の後に編者の姓名を倒置せずに示し，コンマ(,)で区切った後に，書名をイタリック体で示す。）

５．翻訳書

Brown, J. S., & Duguid, P. (2000). *The social life of information*. Harvard Business School Press. (ブラウン, J. S. (2002). なぜ IT は社会を変えないのか. 宮本喜一 (訳). 日本経済新聞社.)
(原著者名. (原著出版年). 原書名. 原書出版社. 原著者の日本語表記. (出版年). 翻訳書名. 翻訳者 (役割). 翻訳書の出版社.)

６．テクニカルレポート，報告書

慶應義塾大学文学部図書館・情報学科. (1993). 「情報」概念をめぐる基礎的検討: 図書館・情報学分野における情報研究の基盤として. 平成 4 年度慶應義塾学事振興資金による研究(共同研究): 「情報」概念の類型化報告書.
(著者名. (刊行年). 報告書名. 報告書種別.)

岸田智宏，小沢慎治，樫村雅章. (2003). 初期印刷本活字のデータベース化システム: 大英図書館所蔵初期印刷本のデジタル画像作成と書誌学的比較校合研究. 平成 13 年度～平成 14 年度科学研究費補助金基盤研究(A)(2)研究成果報告書 (pp. 35-77).
(報告書中の 1 論文の場合)

Fainchtein, R. (1996). *An instructional adaptive mesh refinement code for unstructured grids* (NASA-CR-4718, NAG5-2652). National Aeronautics and Space Administration. (Microform), Available from the NASA Center for AeroSpace Information. https://ntrs.nasa.gov/citations/19960016746
(テクニカルレポート等の刊行機関は出版社として扱う。レポート番号がある場合はタイトルの後に必ず記載すること。オンラインでアクセスできる場合は URL を記載する。)

７．学位論文

汐﨑順子. (2019). 子ども文庫が生まれる理由，続ける力，支える仕組み［博士論文，慶應義塾大学］. 慶應義塾大学学術リポジトリ (KOARA). https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO10001002-20195027-0003

(著者名. (学位授与年). 論文名. [学位論文の種類，学位授与機関]. 機関リポジトリ等から入手できる場合はその名称と URL を示す。)

Altman, S. J. (1994). *Behavior of nutrients in groundwater of an agricultural valley and its riparian zone* (Publication No. 9504164) [Doctoral dissertation, University Park, Pennsylvania State University]. ProQuest Dissertations & Theses Global.

(著者名. (学位授与年). 論文名. [学位論文の種類，学位授与機関]. ProQuest Dissertations & Theses Global 等から入手できる場合は論文名の後に丸括弧に入れて入手 ID 等を記載する。全文閲覧にログインが必要な場合は URL を記載しない。)

8．会議録，会議予稿集の 1 論文

安形輝, & 上田修一. (2007). 『時事新報』初期の社説の著者推定. 三田図書館・情報学会研究大会発表論文集 2007 年度 (pp. 57-60). http://www.mslis.jp/am2007yoko/15_agataTeru.pdf

(著者名. (出版年). 題名. 会議報告書名(pp. 最初のページ－最後のページ). 出版社（会議主催機関）. 図書の一部に準じて書く場合の例である。この例では会議報告書名中に会議主催機関名があるため会議主催機関名を省略している。)

Jenkins, D., Castledine, J. R., Galaviz, L., & Williams, T. (2005). It takes a village: Student chapter survival and success. *Proceedings of the American Society for Information Science and Technology*, *40*(1), 551-552. https://doi.org/10.1002/meet.14504001119

(雑誌論文に準じて記載する場合の例である。この例では会議報告書の出版社が会議主催機関とは別におり，その公開日が会議開催年とは異なるため，公開日を出版年として記載している。)

9．ウェブ資料

Library of Congress, Network Development and MARC Standards Office. (2006, April 6). *Functional analysis of the MARC21 Bibliographic and Holdings formats*. Library of Congress. http://www.loc.gov/marc/marc-functional-analysis/functional-analysis.html

(機関によるウェブページで著者名の記載がない場合は，機関を著者として記載する。作成日付はできるだけ詳細に記載する。ウェブページに更新日付が明示されている場合は最新の日付を採用する。)

University of Cambridge, Computer Laboratory. (n.d.). *Suggested student project: Identification of medieval scribal handwriting*. Retrieved August 3, 2023, from http://www.cl.cam.ac.uk/users/jgd1000/scribes.html
(作成・公開日付が不明のときは「(n.d.)」と記載する。ウェブページの内容が時間の経過で変わることが予期され，アーカイブに保存されない場合には，アクセス日付を記録する。)

総務省（編). (2007). 情報通信白書，平成 19 年版.
https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h19/index.html

三田図書館・情報学会. (2023 年 7 月 13 日). Library and Information Science: 雑誌について. Retrieved June 25, 2024, from http://www.libinformsci.com/about/index.html
(ウェブページに最新の更新日付が明示されている場合。アクセス日付は和文欧文で同じ書き方。)

宮田洋輔. (2022). 図書館情報学英語論文における描出の変遷 [パワーポイントスライド]. figshare. https://doi.org/10.6084/m9.figshare.21546918.v1
(公開されているパワーポイントスライド。タイトルの後に[　]に入れて情報資源の種類を示す。)

国立国会図書館. (2022 年 3 月 24 日). 納本のご案内(地方公共団体の皆様へ) [動画]. YouTube. https://www.youtube.com/watch?v=7DxJ7g6-at8
(YouTube 動画。タイトルの後に[　]に入れて情報資源の種類を示す。)

国立国会図書館. (n.d.). 国立国会図書館公式チャンネル National Diet Library, Japan [YouTube チャンネル]. YouTube. https://www.youtube.com/@nationaldietlibraryjapan4964/featured
(YouTube チャンネル全体を引用する場合。タイトルの後に[　]に入れてチャンネル全体であることを示す。チャンネルの「ホーム」URL を示す。)

10. 新聞記事

亀田知明. (2022 年 8 月 22 日). 図書館: 貴族の蔵書開放 広めた教養 図書館今は読書も憩いも. なるほど!ルーツ調査隊. 日経新聞夕刊, 8.
(著者名. (発行年月日). 記事タイトル. 掲載紙と朝刊・夕刊の別，掲載ページ(面))

県立図書館で電子書籍導入: 今年度中に 5 千点/ 千葉県. (2024 年 6 月 1 日). 朝日新聞朝刊,

26.
(著者名が不明の場合は記事タイトルを著者名の位置に移動する。本文中で示すときには，記事タイトルを使用する。)

Smith, D. (2001, January 27). Has history been too generous to Gutenberg? *The New York Times*, B9. https://www.nytimes.com/2001/01/27/arts/has-history-been-too-generous-to-gutenberg.html
(著者名(不明の場合は記事タイトル). (発行年月日). 記事タイトル，*掲載紙*，掲載ページ. URL)

11. 研究データセット

岩瀬梓. (2021). 情報メディアの選択(2019 年度) (Version 1) [データセット]. figshare. https://doi.org/10.6084/m9.figshare.15170577.v1
(作成者 (公開・発行年). データセット名に続き括弧に入れてデータのバージョン等を示す。公開サイト. URL)

Sakai, Y., Miyata, Y., Yokoi, K., Wang, Y., & Kurata, K. (2023). *Dataset for "Initial insight of three modes of data sharing: Prevalence of primary reuse, data integration and dataset release in research articles"* (Version 3) [Data set]. Zenodo. https://zenodo.org/record/7824162#.ZFt_inb7SUk

O'Donohue, W. (2017). *Content analysis of undergraduate psychology textbooks* (ICPSR 21600; Version V1) [Data set]. ICPSR. https://doi.org/10.3886/ICPSR36966.v1
(データセット名に続き括弧に入れてデータ ID 番号を記載(ある場合)，続けてセミコロン(；)で区切り，データのバージョンを示す。)

慶應義塾大学経済学部附属経済研究所パネルデータ設計・解析センター. (2020). 新型コロナウイルス感染症に関する特別調査 (JHPS コロナ特別調査/JHPS-COVID19) [個票データ].
(非公開データであり，URL の記載ができない場合の例である。)

12. その他

石川県立図書館 [@iskw_pref_lib]. (2022 年 12 月 7 日). ＊名著で作る和紙しおり＊#文豪展期間中は [ツイート]. Twitter. https://twitter.com/iskw_pref_lib/status/1600324285129711618?cxt=HHwWhICzyaudv7U

sAAAA
(執筆者［ハンドルネーム］. (発行年月日). タイトル(ツイートの最初の 20 字をタイトルとする。ハッシュタグ，絵文字, URL 等を含める。) [ツイート]. Twitter. URL)

Poole, N. [@NickPoole1]. (2022, February 28). *Bloody hell. Looking at a message from the Ukraine Library Association concerning the cancellation of their forthcoming conference. it basically* [Tweet]. Twitter. https://twitter.com/NickPoole1/status/1498309449169178634
(執筆者［ハンドルネーム］. (発行年月日). *タイトル*(ツイートの最初の 20 語をタイトルとする。ハッシュタグ，絵文字, URL 等を含める。絵文字は斜体にしない) [Tweet]. Twitter. URL)

東京都立図書館. (2022 年 12 月 07 日). 病院×図書館連携企画「がん相談支援センター［投稿］. Facebook. https://www.facebook.com/tmlibrary/posts/pfbid034FmxC49a74ezsQPYs6h4i6RbwzvQUFyCA8NGk3Qm7q3oKxSUZe8iz2wRUdAx2xJNl?
(執筆者. (発行年月日). タイトル(投稿文の最初の 20 語をタイトルとする) [投稿のタイプ：投稿，基本データ更新，動画など]. Facebook. URL)